



www.kirinsou.com

常緑キリンソウ

日本原産

常緑キリンソウとは

常緑キリンソウ

常緑キリンソウ比較写真2月撮影



従来のキリンソウ

新常緑キリンソウ

種苗登録済み



トットリフジタ1号登録番号 15866号
トットリフジタ2号登録番号 15867号



従来のキリンソウ

冬の期間は落葉。
11月より3月まで
冬至芽で過ごす。

常緑キリンソウ

11月に新旧芽の
入れ替わり、新芽
が伸び始め冬季
期間成長し常緑
で過ごす。



学名(ベンケイソウ科キリンソウ属キリンソウ)名前の通り弁慶の様に非常に強い事から付けられた多肉植物です。

キリンソウの由来は、中国の古書に出てくる想像上の動物、麒麟(きりん)に由来すると言われていた縁起のいい植物です。

キリンソウは日本各地の山地や海岸の乾いた岩の上などに自生する植物で冬期間は落葉します。

新常緑キリンソウは品種改良を行い、通年を通し緑を保つ様に改良した新品種です。

天然雨水が当たる所であれば3 - 5cmの薄層土壌で、灌水設備が無くても生育が可能で非常に乾燥に強いことから植生が困難な屋上などにも適している植物です。

生息温度 - 30度 ~ + 40度と日本全国どのような条件下でも生息が可能です。

薬用効果もあり蚊、蜂などの虫刺され、浅い切り傷等にも効きます。

江戸時代には飢餓に備え、若葉を塩茹でし乾燥させ保存食に使っていたとも言われております。

常緑キリンソウは過湿でも生育



コケが生えるぐらいの過湿場所でも常緑キリンソウは大丈夫であった。

常緑キリンソウは過乾燥でも生育



過乾燥による衰退(壁面、斜面緑化) 急斜面と言うこともあり水不足で他のセダム類は落ちてしまったが、新常緑キリンソウのみ定着した。



施工事例



従来のキリンソウと常緑キリンソウの比較

斜面緑化(鳥取県円谷)

傾斜70度、下地はコンクリートで景観修復を含め緑化し、中央手前は従来のキリンソウ、奥側は新常緑麒麟草で比較をする為に分けて施工しました。4月～10月は両方変わり無く育っている状態です。



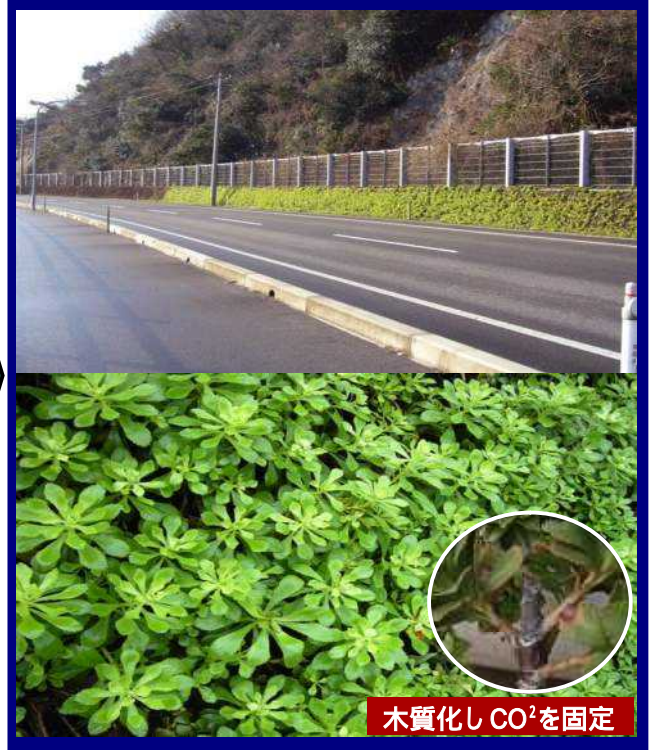
従来のキリンソウ 12月の状態

常緑キリンソウ 12月の状態



冬の期間は落葉。
11月より3月まで冬至芽で過ごす。

改良
新品種



木質化しCO²を固定

11月に新旧芽の入れ替わり、新芽が伸び
始め冬季期間成長し常緑で過ごす。

キリンソウは各地の山地や海岸の乾いた岩の上などに自生する植物で、日本全土に分布していますが、全ての品種は落葉します。冬期間常緑でいる品種はこの新常緑キリンソウだけです。種苗登録されています。

岡重株式会社

〒730-0051 広島市中区大手町1丁目1-23
TEL 082-247-9341 FAX 082-244-0176

(販売特約店) 株式会社エネルギーL&Bパートナーズ
〒730-0041 広島市中区小町4-33
TEL 082-242-7805 FAX 082-247-8471